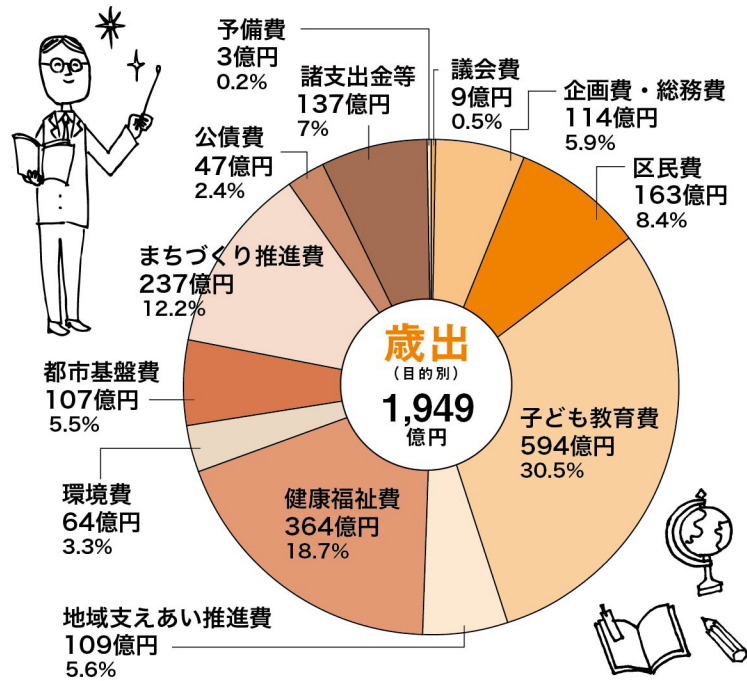


1分で分かる予算案の使い道



一般会計の予算(1,949億円)を1万円に換算

- 3,050円** 子ども教育費
子育て支援や図書館の運営など
- 1,870円** 健康福祉費
健康づくり、障害のある方への援助など
- 590円** 企画・総務費
区役所庁舎の維持管理、防災など
- 1,220円** まちづくり推進費
災害に強いまちづくりなど
- 840円** 区民費
国民健康保険、徴税事務など
- 550円** 都市基盤費
道路・河川・公園の整備、建築確認など
- 560円** 地域支えあい推進費
地域活動やお年寄りへの支援など
- 330円** 環境費
地球温暖化防止対策、ごみ減量など
- 240円** 公債費
区債を発行して借りたお金の返済
- 50円** 議会費
議会の活動、議会中継など

※表示は四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

令和7年度末見込み
貯金 **669** 億円 借金 **449** 億円

中野区の貯金と借金は？

主な貯金残高5年間の推計 (単位:億円)

貯金	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	654	678	697	744	767

借金残高5年間の推計 (単位:億円)

借金	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	449	533	565	564	546

基金(貯金)には、大きく分けて財政調整基金と特定目的基金があります。財政調整基金は、年度間調整分、施設改修分、退職手当分から構成されております。特定目的金は、その目的にのみ使えるもので、学校の建替、まちづくり、道路・公園の補修、地域子ども等の施設の改修など約10種類の基金があります。施設の老朽化が進む中、計画的な積み立ては必要ですが、現納税者への還元も重要でバランスある基金の積み立てと活用が求められると考えます。

一時的に多額の費用を必要とする施設建設などについては、財政負担の平準化と世代間負担の公平化(施設は長年にわたり利用されることから)を図る観点から起債(借金)を活用します。日銀の金利の引き上げもある中、これまで以上に、利子も発生し、それも皆さんの税金でもあることから、極力、起債を抑える事をこれまででも提案して来たところ。元利償還金が予算を圧迫することが無いよう、今後もしっかりとチェックして参ります。

不合理な税制改正等に対する特別区の主張

「地方創生の推進」と「税源偏在是正」の名のもと(財政状況の良い都市部の財源を地方に振り分けられています)、法人住民税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税等により特別区の貴重な財源が奪われています。令和7年度における中野区への影響額は、法人住民税の一部国税化により71億円の減、地方消費税の清算基準の見直しにより13億円の減、ふるさと納税により31億円の減と

計114億円の減収と大変に大きな影響額となっております。ふるさと納税ばかりが目立っていますが、実は法人住民税の一部国税化の方が、都市部の自治体に与える影響は大きいのが実情です。これらの不合理な制度改正は、応益負担や負担分任という地方税の本旨を無視したものであり、是正されなければなりません。国が進める不合理な税制改正の動きに対し、特別区議会として取り組んでおります。



2025 | SPRING | サカタク通信

中野区議会議員

酒井たくや

これ1枚でわかる令和7年度予算案



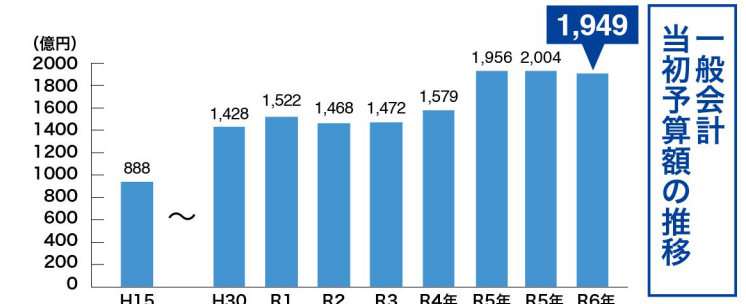
年間1,949億円の中野区の予算案

「税金が取られる、引かれる感覚」から「納めている」と少しでも感じて頂けるよう議会活動に励んで参ります。



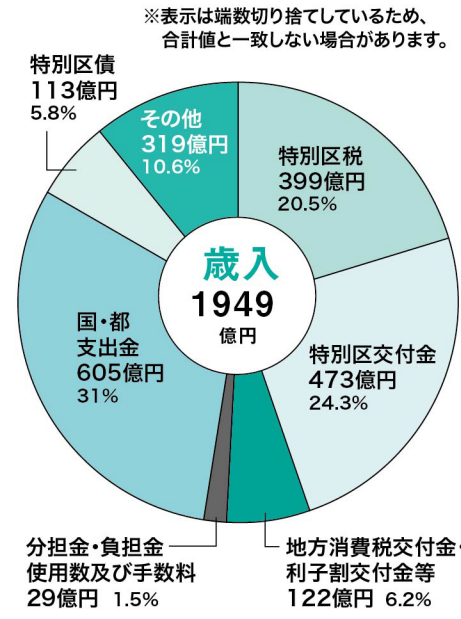
令和7年度予算(案)は前年度に比べ54億4,100万円、2.7%減の1,949億9,600万円の過去3番目に大きい予算規模となりました。歳出は、中野駅周辺のまちづくり、学校をはじめとした公共施設の更新、防災まちづくり等のハード面の整備の事業費が大きいものとしてあります。歳入は、区の基幹収入である特別区税と特別区交付金が、ここ数年堅調に伸びております。一方、区役所・サンプラザ跡地を活用した新北口駅前エリア

再整備事業計画が、建設費の高騰などにより見直しを余儀なくされております。再開発による区財産の処分に伴う多額の転出補償金を歳入として見逃せない状況でもあります。不安定な国際情勢に伴い経済状況も不透明な中、持続可能な区政運営を確立して行かなければなりません。



サカタクの初当選時の平成15年の予算は **888億円**

- 特別区税**
住民税、軽自動車税、たばこ税
- 特別区交付金**
法人の住民税と固定資産税等を都と区で配分
- 地方消費税交付金**
消費税の約2%は地方自治体に交付
- 負担金・使用料・手数料**
保育料や区の施設使用料、証明書発行等
- 国・都支出金**
使用目的が決まっている国、都の補助金
- 特別区債**
今年度借りたお金です。



特別区税と特別区交付金が歳入の約4割を占め、区の基幹収入となっています。特別区税は前年度比37億円、10.3%の増となりました。ふるさと納税の影響により約31億円の減収があるものの、納税義務者数や所得増を見込んだほか、R6年度の定額減税による減収が無くなったこと等から増となり、399億円と過去最高額となっております。特別区交付金は財源である固定資産税や市町村民税法人分が伸び、前年度比16億円増となり、こちらも過去最高額となっております。国庫支出金及び特別区債は、中野駅周辺地区の市街地再開発事業関連経費や学校施設整備費等の減に伴い減少しています。

※その他には財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入が含まれます。

区政へのご意見ご要望
ございましたら
お気軽にお申し付け下さい。
TEL.03-3228-8876 [平日] 10時~17時
発行/立憲・国民・ネット・無所属議員団
中野区中野4-11-19
Phone.03-3228-8876 Fax.03-3389-8718

酒井たくや プロフィール MAIL takuya117sakai@icloud.com

1974年1月17日兵庫県淡路島生まれ。大阪学院大学法学部卒業
会社員、お笑い芸人活動、アントニオ猪木営業軍団トップセールスマン、政治家秘書を経て、
2003年初当選 現在6期目 第59代中野区議会議長、第57代中野区議会副議長
東中野4・5丁目町会青年部、東中野本通り商店会共栄会青年部、中野消防団第六分団部長、
白桜小PTA、白桜小おやじの会、桃園第二小学校 呼びかけ隊員、青少年育成昭和地区委員会委員長
家族/妻・娘(まこと幼稚園卒) 趣味/野球・プロレス観戦など

住所 東中野5-18-16W211 TEL&FAX 03-5386-2838



「子育てナカノ」

6万2千円→7万円

■ 認証保育所等保護者補助金の引き上げ 1億1196万円

働くお父さん、お母さんを応援

■ 病児保育事業の拡充 4860万円

中部・南部地域で施設を開設



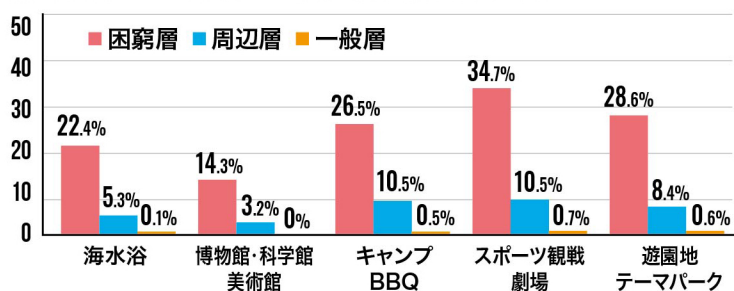
■ 民間学童クラブ 運営費補助等の見直し 3億7298万円

■ 子どもの体験事業 267万円

経済的な理由により体験や経験の機会が家庭の子どもに対し、体験事業を実施



(%) 体験がない割合 生活困難度別(低学年)



より利用しやすくなります

■ 子どもショートステイ事業 5610万円

実施場所を増やし、利用要件を緩和

■ 次世代育成に資する 文化・芸術事業の拡充 1181万円

子どもたちがより身近に文化・芸術に触れられる環境を拡充



■ 常設プレーパークの開設 1億2309万円

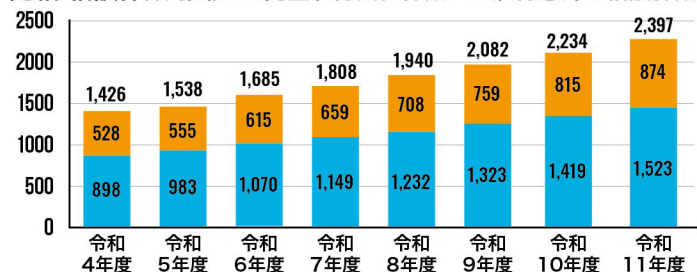
子どもが「自分の責任で自由に遊べる」プレーパークを江古田の森公園に開設

■ 社会的養護自立支援拠点事業 2070万円

児童養護施設等退所後、大学等に進学する単身生活者に対する家賃等の助成を行う

■ 里親養育包括支援(フォスターリング)事業 5825万円

児相 相談件数 推移 ■ 児童虐待受付件数 ■ 虐待意外の相談件数



「教育ナカノ」

4万5千円→6万円

■ 私立幼稚園等保護者補助入園料 補助金額の増額 4504万円

■ 幼稚園における預かり保育を充実 2億162万円

■ 学校部活動の地域移行 4739万円

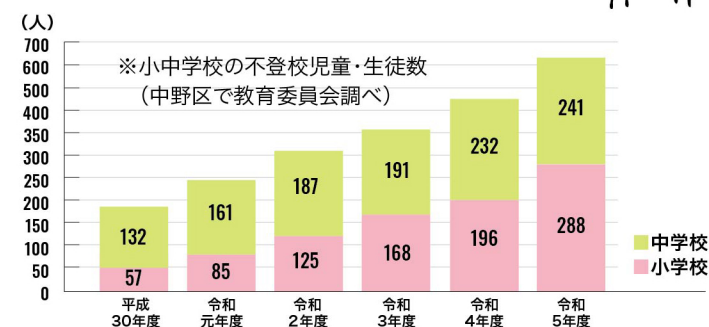
部活動指導員の配置やモデル事業を行う

■ 区立学校の環境改善に向けた計画的な改修等 25億2477万円



■ 不登校対策の拡充 6752万円

・居場所機能を充実
・不登校児童・生徒の自立に向けた支援を強化
・不登校巡回教員の配置



皆様から頂いた「お声」や「思い」をいくつか形にすることが出来ました。
令和7年度予算案の主な事業です。



「いいねナカノ」

■ 町会・自治会活動推進事業の拡充 5091万円

助成金の増額、特に小規模町会の活動が持続的なものとなるよう充実を図る

■ 地域事務所における キャッシュレス対応レジの導入 298万円

■ デジタル地域通貨事業の拡充 4億4960万円

「ナカペイ」により、区内経済の活性化と、コミュニティポイントの導入

■ 伴走型中小企業経営支援体制の構築 5386万円

コーディネーターを中心とした経営相談機能の拡充

■ 商店街街路灯に係る支援事業(電灯料助成) 2474万円

定額制から定率制に変更し、商店街を支援

■ 文化施設の改修工事 18億8178万円

もみじ山文化センター本館及び西館、なかの芸能小劇場、野方区民ホールの改修工事を行う



便利になります

■ 区民活動センターへのフリーWi-Fi導入 6490万円

■ 省エネルギー機器等の導入補助 7100万円

ベンチも設置できます

■ 歩きたくなるまちづくりの推進 59万円

■ 東中野駅東口周辺のまちづくり 2464万円

■ 西武新宿線(中井駅~野方駅間)連続立体交差事業に伴う鉄道上部空間の活用 563万円

■ 新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり 33億4751万円

■ 中野駅周辺のまちづくり 171億6548万円



「安心ナカノ」

■ 災害対策用備蓄物資の拡充 1億4336万円

避難者のプライバシー確保のためワンタッチ式の間仕切り、避難者の健康管理の維持のため、口腔ケア用品を配備 医療救護用としてエアータントを拡充

■ 耐震化促進(新耐震基準木造住宅耐震改修等助成) 597万円

昭和56年~平成12年5月31日の間、着工された耐震のグレーゾーンと言われる木造住宅を対象に新たに耐震改修等助成を実施



■ 防災まちづくり 12億8761万円

危険度が高い地域や木造住宅密集地域等において、防災まちづくりを推進



■ 障害の理解促進・ふれあい交流事業 44万円

障害のある人とない人との交流事業として、小学生の親子向け事業を実施し、障害理解を推進

■ 障害児通所支援事業所の開設準備に係る費用の補助 400万円

重症心身障害児を主たる対象とする放課後等デイサービス事業所及び、保育所等訪問支援を行う事業所への支援

公園トイレの洋式化とバリアフリー化

■ 公園トイレ等 ユニバーサルデザイン改修工事 1億6862万円



■ 健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業 5999万円

■ コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の導入 1591万円

複雑化・複合化した課題を抱える家庭への支援を強化

補聴器購入の補助金もあります

■ 聴力健診の導入 264万円



■ 後期高齢者における低栄養予防と口腔フレイル対策の充実 1256万円

■ もの忘れ検診の充実 864万円

MCI(軽度認知障害)等、認知機能低下の進行の予防



■ 高齢者会館の環境改善等 3421万円

和室から洋室への改修工事を行う



■ 妊娠・出産・子育て トータルケア事業の充実 11億6367万円

妊娠から出産、子育てまでの個々のニーズに応じた切れ目ない支援を行うため、産後ケア事業の更なる充実